

議会報告会 総務班報告書

開催日時：平成25年11月15日（金）19時～21時

開催場所：堅田市民センター

出席議員：受 付 仲野弘子、藤井重美、磯田英清

あいさつ 北村正二

報告者 桐田真人、船本 力

記録者 塚本正弘、山本哲平

撮影者 鷺見達夫、中野治郎

参加人数： 45人

内 容：

- ① 議会の概要
- ② 平成24年度決算概要
- ③ 平成25年9月通常会議・11月特別会議の審議内容
- ④ 所管事務調査の報告
以上、別紙の資料にもとづき報告者から報告
- ⑤ 質疑・応答（次の通り）

●質問

市の決算は、収支会計によるものであるが、なぜ貸借対照表による財務会計処理をされないのか。

■回答

通常の収支会計にもとづく決算の他に、新地方公会計制度にもとづく決算があり、大津市では基準モデルにもとづき、貸借対照表や行政コスト計算書等を作成している。

平成24年度分は近日中に完成する予定で、完成しだい大津市のホームページに掲載される。

●質問

人件費について、民間のレベルとかに合わせるのではなく、市の経営・財政の業績にあわすべきでは。

■回答

人事委員会がその地域の民間の給与と比較をして、高いとか安いとかということで勧告をしており、それにもとづいて決定している。一方でここ近年は天津市の財政状況等を踏まえて、独自のカットも行っている。

このようにベースは国・県からの勧告にもとづくものであるが、財政状況、税収等を踏まえて独自のカットを行っている。

●質問

市街化区域の農地の課税（固定資産税）について、農業の多面的利用等を考えていただきたい。

■回答

地方税法にもとづく形で市税条例により固定資産税を課税している。

制度的には、地方に裁量が認められている部分と認められていない部分があり、農地に対する課税の減免等が地方の裁量でできるかどうかは今後、研究を進めていく必要がある。

ご意見としてたまり、固定資産税のあり方等については、今後、しっかりと議論していきたい。

●質問

堅田駅西口土地区画整理事業特別会計について、収支差が1億円以上であるが、この理由は何か。

■回答

当該特別会計については、収入には一般会計からの繰入金や造成地の売却収入があり、支出には管理事務所の人件費、土地の造成費等がある。一般会計や他の特別会計については、収入がその支出のための財源となっていることが多く収支のバランスがとられ収支差はほとんど発生しないが、当該特別会計については、収支がそのような性格となっておらず、分譲土地の販売状況などにより繰越金が発生する会計であり、事業期間の全体を通じて収支のバランスを取るようになっており、単年度では大きな収支差が発生することもある。

●質問

現庁舎の現状は機能的にも職員の士気上も問題があると思う。平成18年の庁舎立替の検討開始から7年も経ている現在、その対応は如何になっているのか。

■回答

議会においては公共施設対策特別委員会において、公共施設はどうあるべきか、狭隘でバリアフリー上などで問題がある現庁舎はどうすべきかという議論を行っている。

庁舎の隣に国有地があり、国から払い下げの話が来ているところであるが、その国との協議の最中においてその土地の地中には不純物があることが判明した。その国有地の活用も含めて話をしているところであり、方向性が決まれば市民のみなさまにも明確にお伝えできると思う。

また、現庁舎については、喫緊の課題として耐震化の問題があり、それについては、最新の工法を用いて耐震化を図ったところである

●再問

検討、検討ばかりではなく、早く対応をはかるべきである。
長浜市なんかは早期に対応をされている。

■回答

先日、特別委員会で長浜市役所の視察を行った。
国有地の不純物の問題が解消できれば、国有地を活用した庁舎整備をやりたいという決意を（私は）持っている。

●質問

評価制度が甘すぎる。なぜ評価Aが多いのか不思議である。甘い体質ではないか。
また従業員の人事考課まで、なぜ議会が入るのか。

■回答

常任委員会で執行部から説明を受けたが、従前は自己評価があったが、そのような手法には問題があり、自己評価はやめた。評価は、上司や第三者がすべきであると思う。
職員の人事評価については、その結果が人事異動等に活かされるわけであり、公正公平な評価を行うためになんらかの統一した基準等が必要である。

しかしながら、人が人を判断するということが難しい面も一方ではある。

●再問

人事考課の一番の目的は職員を成長させることである。
目標の設定等に課題があり、そういった点で民間ではうまくやっているような例もある。

■回答

民間の取り組み事例等も参考にしていきたいと思う。

●質問（人事評価の関連の意見として発言）

人事評価制度は必要である。

その制度や仕組みを議会がチェックをして、良い制度にしていくべきである。

●質問

市職員の市内居住が半分以下と聞くと、大規模災害等の緊急体制がとれるのか。

■回答

半数いるのか、いないのか、現時点でわかりかねるので、この点は調べて回答したい。
大津市では防災計画を定めて対応を図っている。

また、議会としてはBCP（業務継続計画）の策定に向けて政策検討会議で検討を進めているところであり、大規模災害等を起こった時に議会としてはどのような行動をとるべきか、といったことなどを話し合っており、年度内にはBCPが完成する予定である。

（※確認の結果、市内居住の割合は7割。）

●質問

競輪場跡地利用計画はどのようになっているのか。

□回答

政策調整部、産業観光部、都市計画部で現在協議を進めている。利活用については、今年度内に議論の集約を目指している。

●質問

DVは高齢者（要介護者）、子どもへの対応は何かあるのか。

□回答

DV対策は、配偶者等が対象の基本であるが、高齢者・要介護者にかかるDVや、例えば子どもが親のDV状態を見るだけでも児童虐待となるため、対応すべきものとなる。

●質問

病院職員に対する人事評価がなぜないのか。

国家資格をとっているとは言え、実践の場で適応外の方もいるのではないのか。

また各研修は勤務内に市のお金で行っているか。

□回答

医師については、人事評価の対象となっていない。看護師や技師等については、病院機能評価を病院が主体として行っている。また、院内研修や看護協会等の研修は、公費で行っている。

●質問

政策調整部、市民病院、消防局など総務常任委員会所管部署の不祥事が多い、どのような管理・対応をされてきたのか。

□回答

市ではコンプライアンス推進本部会議において取り組みをしており、各所属での研修の実施、内部統制研修、公務員倫理特別研修などを実施した。市議会としても、今後とも信頼回復のために、積極的な取り組みを求めていく。

●質問

中学生の自殺があったにもかかわらず、教育委員会の評価でD評価が0（第一期）と1（第二期）しかないが、これで実情が反映されているか。
昨年度の評価はどうだったか。

□回答

小中学校の教員の人事評価は滋賀県教育委員会が実施しており、本市は、教育委員会事務局職員の人事評価を行っている。

また、評価に際しては、複数の者が担当し、評価項目ごとの評価点を合計した総合評価としており、S・A・B・C・Dの5段階の区分としている。

なお、昨年度と一昨年度を比べ、評価結果に特に変化は見受けられない。
(報告会当日の資料は、昨年度の評価結果。)

●質問

北部防災センターについて、真野川の改修工事が未定であり、その状況下での先行起工はどうか。

□回答

北部地域総合消防防災センターについては、県の安全度マップで10年確率では被害なし、100年確率で50センチメートル未満の冠水被害が想定されている。

対応として、機械設備は2階に設置し、真野川に面するところは開口部を設けない構造とし、敷地も一部嵩上げをした。

●質問

コンプライアンス委員会制度を確立し、内部統制に努められており、各部署及び市全体でチェックはされているが、議会として、どのような対応をされてきたのか。

□回答

先進地である静岡市に視察調査を行い、その取り組みを参考に、議会としてもしっかりとチェック機能を果たすとともに、提言していく。

●質問

堅田学区でゾーン30を本年度より実施されたが、歩道がなく、極めて危険な状況である。早急に両サイドに白線を引くなどすべきではないか。

□回答

警察との連携の中で、随時対応するよう求めていく。

●質問

市道幹2009号線の本堅田一丁目9-9から本堅田二丁目8-15までの区間は一方通行だが、逆行してくる車両が多いため、対策を。

□回答

警察との連携の中で、対応するよう求めていく。

●質問（意見）

こういった報告会は積極的に進めてください。

⑥ アンケート結果

1. お住まいの学区は

堅田 31人 仰木の里 3人 小松 1人 伊香立 1人 唐崎 1人

2. 性別

男性 31人 女性 6人

3. 年代

10歳代 0人 20歳代 0人 30歳代 2人 40歳代 2人 50歳代 3人

60歳代 16人 70歳代以上 13人

4. 報告会の開催を何で知りましたか（複数回答あり）

- 議員 7人 ●市ホームページ 2人 ●広報おおつ 9人 ●チラシ 8人
- その他 20人（自治会 15人 老人会 3人）

5. 内容はいかがでしたか

- わかりやすかった 13人 ●どちらともいえない 18人
- わかりにくかった 4人

- 初めての話なので、お話について行くのが精一杯でした。
- 専門的な事例等報告で、短時間に全てを、の考えでは理解しにくい。
- 時間の割に報告事項が多すぎであり、細かなところまで説明が足りない。

6. ご意見等

- 評価で給与が決まるのがおかしい。評価自体をなくすように考えてほしい。
- 堅田市民センターの2階、3階のトイレが男女一緒なので、男女別々にしてほしいと思います。議会報告は良かったと思います。市民の生の声をこれからも聞く姿勢を持ち続けてください。質問の回答をいただきたいと思います。
- 議会の中で何の問題が話し合われているのか説明をしてもらいたい。
- 仕事をしているものもいるので、開催の時間の検討が必要。報告書は事前にもらえないか。ファシリテーターがいることで、スムーズに会議が進められたと思う。いろいろと勉強になりました。ありがとうございました。
- 初めて参加したが、市会の現状がほぼ理解できたように思う。
- 年間2回ぐらい開催されたらよい。できるだけ身近な取り組み etc の報告に絞るべき。
- 質問時間が短い。
- 専門的な言葉が説明の中に混じり、理解できない部分もあった。一回では無理、何回か繰り返さないと。今回は理解できる部分のみ理解。
- 理解できるだけの能力がない。評価制度は民間との比較が難しい。
- 次回もよろしくをお願いします。
- 報告内容が部会単位のため、市全般への意見・質問がしにくかったです。
- 報告事項より、市民からの質問等の質疑応答の方が意味あることが多く、続けていたきたくをお願いします。
- 一問一答方式の方がよいと思う。
- 報告会をもっと開いてほしい。年間4から5回は定期的に実施してほしい。
- 職員の市内居住割合の話をもっと聞きたかった。

- 非常によい機会を与えていただきました。議会が身近になって良かった。
- 各議員が確り議事運営等に取り組んでおられることがよくわかりました。がんばってください。
- 議会報告会の回数を増やしてほしい。この報告会の質問を書く時間が短いので、希望者には事前に資料を配付するようにしていただきたい。
- このような報告会を一年に2回は開催されたい。
- 質疑応答の議員答弁よくわかった。
- 議会（議員）からの報告も非常に簡明でわかりやすかったし、その後の質疑でも活発で具体的な内容のものが多かった。今までは、市議会だよりなどによる市政報告がなされてきたが、本日のような face to face の対面式の報告や議論がなされたことにより、市民の生活者としての思いが伝わり、実のあるものであると感じた。市民にとって、今回の議員からの説明で、議会や議員の活動が一定理解されたことと思われました。大津市の職員立場で参加させていただき、大変勉強になりました。
- 船本、桐田議員の説明よくわかった。借金（市債）の現在高減少に努力してほしい。盛り上がった会議であった。

大津市議会議長 高橋 健二 様

平成25年12月4日

上記のとおり報告します。

総務班代表者

北村 正二